

世界のデング熱流行状況(更新 5)

2011年7月24日 ProMED 情報

(1)タイ

同国保健省は、本年1～6月に23,324名の患者が報告されたことから、警戒警報を出しました。死亡患者は13名と報告されています。患者の約半数は10～24歳で、1歳以下が650名、65歳以上が190名ということです。

[ProMED 調整者]その後の同国保健省の正式報告によると、さらに7月24日までで、患者数は30,011名で死亡患者数は19名ということです。

(2)カンボジア

同国デング熱制圧プログラム(NDCP)によると、本年第27週までに7つの省で4,626名の入院患者と23名の死亡患者が報告されました。昨年同期は、患者数2,888名で死亡患者数9名でした。主な流行地域は、コンポントム州 Kampong Thom, コンポンチャム州 Kampong Cham, シエムリアップ州 Siem Reap, カンダル州 Kandal, コンポンスプー州 Kampong Speu, バンテアイミエンチェイ州 Banteay Meanchey です。

(3)インド(デリー)

7月23日、この1ヵ月間で1名が死亡し、6名の新規患者が報告されました。これにより本年の患者数は11名になりました。昨年は、6,229名の患者と8名の死亡患者が報告されました。

(4)モルディブ

7月24日、22歳の男性が死亡し、死亡患者は合計11名となりました。ここ数年で最も多い患者数です。

(5)オーストラリア

2009～2010年に北クイーンズランド州でデング熱の大流行が発生したことから、同国赤十字は血液にウイルスが混入しているおそれがあるとして、献血された血液33,600Lを廃棄しました。

(6)ブラジル

サン・パウロ州リオ・クラロ Rio Claro

7月15日発行の疫学サーベイランスによると、今年に入り1,641名の患者が報告されました。

マトグロッソ州

7月21日、同州保健事務局によると6例目の死亡患者が確認され、これまでの報告患者数は40,391名になったということです。